国際アロマセラピー科学研究所(ISA)

臨時総会 議事録

2024年6月30日、オンラインにて、代表理事である市邊昌史出席のもと、国際アロマセラピー科学研究所臨時総会が執り行われた。

18 時、総議決数 99 個中、提出されたオンライン委任状 20 通、出席会員 3 名、欠席会員のうち委任の意思を確認したものを合わせて定足数に達し、臨時総会の成立となった。

定款に示される通り、議長は代表理事である市邊昌史が務めた。司会進行は佐佐木景子、書記は濱田祥子が担当した。

全会員に事前に配布されている議題は、以下の通りである。

- 1. 開会の辞
- 2. 現状報告
- 3. インターナショナルナチュラルセラピストユニオン(INU) 組織再編について
 - 3.1. 法人の名称変更(承認投票)
 - 3.2. 新理事候補(承認投票)
 - 3.3. 再編成に伴う関連する定款条項の変更(承認投票)
- 4. 今後の活動について
- 5. 顧問よりあいさつ

招待予定:ドミニク・ドラポルト氏(REFORMED 会長)、ピエール・フランコム氏

- 6. 質疑応答・意見交換
- 7.閉会の辞

| 代表理事からの現状報告

ISA 代表理事市邊昌史が、これまでの ISA の活動の説明にあたり、コロナ禍で会員に対して十分な活動・サービスが行えなかったことについて謝罪の意を表した。唯一、近畿大学での漢方の勉強会、武田薬草園訪問は継続された。セラピストの地位向上を目指して、さまざまな団体との接触を持ってきた。これからセラピストの活動を支援することを中心としたフラットな団体にしていきたいという意思のもと、ISA から IUNT への組織再編成の経緯を説明した。

以下プレゼン資料より抜粋:

-これまでの ISA の活動について

- ・地域、国内外を問わず、垣根をなくして交流と情報共有
- ・臨床や学術の情報、多層な縛られない学びの場をもつ
- ・資格の組織でなく、組織としてセラピストの活動を支援する

-ISA の組織再編成への経緯について

- ・セラピストの地位向上と働きやすい社会を作る礎になる
- ・セラピストの活動を重点的に仲間同士で支え合う
- ・AIの時代に即した研究会を会員間で積み上げた組織にする
- ・EU の REFORMED と合わせて資格の明確化を目指す
- ・アロマセラピスト・ジェモセラピストなど世界標準をめざす

|| 審議事項

①法人の名称変更

代表理事より名称変更の理由についての説明があった。

今回の名称変更は、セラピストたちの団体にしていこうという意図を汲んでおり、アロマセラピーを含む自然療法であるという大きな視野を持ち活動したいという願いがある。その下にアロマセラピストやジェモセラピスト、ボディセラピストなどそれぞれのスペシャリストの協力体制や育成を目指していく。

質問は出なかったため、承認投票に移り、反対意見無しで可決。

②新理事の選出

候補者は市邊昌史、佐佐木景子、石川綾子、書間郁子、濱田祥子の5名。

代表理事より、新理事候補者の簡単な紹介と、出席した候補者からの簡単なあいさつが行われた。(候補者の一人晝間郁子氏は欠席)どの理事候補も、セラピストとしての活動を経験しており、セラピスト目線に立った活動を協力し合ってしていきたいという表明があった。

質問は出なかったため、承認投票に移り、反対意見無しで可決。

③再編成に伴う関連する定款条項の変更

- (1) 第1章 総則 第1条 名称の変更 国際アロマセラピー科学研究所からインターナショナルナチュラルセラピストユニ オンへの名称変更
- (2) 第1章 総則 第3条 目的の訂正

ナチュラルセラピーの名のもと、植物だけでなくあらゆる分野の自然療法を含み活動するための目的文章の訂正

質問は出なかったため、承認投票に移り、反対意見無しで可決。

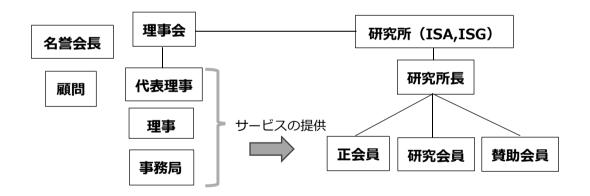
(3) 第5章 会長及び顧問 第25条 名誉会長の役職設置 先人たちの功績を称えるために設置。 現ISA 会長である田代先生を名誉会長として選出する予定である。

質問は出なかったため、承認投票に移り、反対意見無しで可決。

Ⅲ今後の活動について

(1) 新理事に承認された濱田より IUNT の組織図案についての説明があった。

IUNT 組織図



ISA の運営体制と同様に理事会において、組織の活動方針や具体案が話し合われる。IUNTでは組織の大きな舵取りを行っていくが、具体的な活動は国際アロマセラピー科学研究所 (ISA) および国際ジェモセラピー科学研究所 (ISG) という研究所を設置し、資格制度やカリキュラムの構築、研究活動を行っていく。それぞれの分野の専門家を顧問に迎え、研究所内で会員間の意見交換を行いながら、活動を進めていく体制を作りたいと考えている。

(2)代表理事より、IUNT の総会を秋ごろに開催する予定である旨が伝えられた。その際に、 具体的な活動内容の発表や予算、大学など外部の研究組織との協力、ヨーロッパとの交流計 画、資格のレギュレーション統一、ジェモセラピー講座の開始、和精油の関するプロジェク トなどについて、詳細な活動予定の説明がなされるとのこと。

IV顧問あいさつ

- (1) ドミニク・ドラポルト氏 REFORMED 会長。REFORMED は ISA とのパートナーシップ協定を作り上げているベルギーを本拠地とする団体で、EU 委員会の後押しを受けて活動している。ドラポルト氏より簡単な自己紹介のあと、今後IUNT と REFORMED との関係性を見直す必要があり、前進することを希望している。REFORMED の活動としては、EU 圏以外でも広がり始めており、EU 委員会で定められた職業技術を設定する制度(pact for skills)に則っている。2014年以来の ISA とのパートナーシップ協定に基づいた活動内容(カリキュラム内容のすり合わせや共通テスト作成)を説明していただいた。
- (2) ピエール・フランコム氏 IUNT 学術顧問を依頼。アロマセラピー分野の専門家として、現在の状況(フランス)はオンラインを使ったたくさんの講座が乱立している中、質のいい講座を見極めることが難しいと感じている。その中で、セラピストたちのレベルに応じた必要な知識と技術を得られるカリキュラムの設定は重要である。現在、病院(特に緩和病棟)ではアロマセラピーを取り入れるところが増えており、そこで活動できるセラピストはまだ資格などが規定されていないため、これに対応する規制に則ったセラピスト育成プログラムを構築することが必要だと考える。アロマセラピーの未来にとっても重要であると言える。最後に今回改名された団体の名称は、未来に向けていい名前が選ばれたと思う。
- (3) ミハエラ・シェルブレア氏 国際ジェモセラピー研究所顧問を依頼。ジェモセラピーのカリキュラム構築をこれから担っていく予定。

V閉会の辞

司会より臨時総会の閉会の辞が述べられ、臨時総会は予定されていた全ての議事を終了し、 2024年6月30日19時05分に閉会した。

2024年7月5日作成

代表理事 市邊昌史

議事録作成 濱田祥子